

発刊のことば

沖縄県教育委員会教育長 高 良 清 敏

沖縄県教育委員会は、昭和五二年三月に『沖縄県史』全二四巻を完結させ、各方面からご好評をいただきましたが、この成果を踏まえてさらに事業を発展させるべく、引き続き昭和五二年度から『沖縄県史料』編集第一次一〇年計画を発足させ、現在第二次編集業務を進めているところであります。

本計画は『沖縄県史』に収録できなかった近代史料をはじめ、『沖縄県史』が対象としなかった前近代、戦後を含めた史料を収録し、「近代」「前近代」「戦後」の三系統の史料集を逐次刊行しようとするものであります。

ご案内の通り、沖縄の歴史的、文化的伝統は日本国内において独自の位置を占めており、その伝統の解明と継承はひとり県民の要求であるのみならず各分野の研究者から近年ますます関心を寄せられているところであります。しかしながら、沖縄の貴重な文化遺産は去る沖縄戦でほとんど失われ、史料の空白状態は沖縄研究にはかり知れない困難をもたらしてきました。

さいわい『沖縄県史』編集事業の過程で関係各位から多大なご協力が寄せられ、県外に保存されていた沖縄関係史料を活用する途がひらかれ、また、県内に残存していた諸史料の発掘収集が進み、この間沖縄関係史料は少なからぬ集積をみるに至りました。これに旧琉球政府から引継いだ戦後史料を併せて、ここに沖縄

史の全過程を対象とする史料集の刊行を計画した次第であります。

この『沖繩県史料』刊行事業が、今後の沖繩研究の発展にいささかなりとも貢献することになればこれに過ぎる喜びはありません。本事業の遂行にあたっては新たな史料の発掘収集作業をはじめとして幾多の困難が予想されますが、各位の従前にまさるご理解とご協力とによって、その完遂を期したいと決意しています。

本年度は『沖繩県史料』前近代6（首里王府仕置2）を刊行することになりました。昭和五六年度発行の『沖繩県史料』前近代1（首里王府仕置）収録の諸史料を受けて、石垣市立八重山博物館所蔵の翁長親方八重山島規模帳、琉球大学附属図書館所蔵の久米具志川間切規模帳等、近世地方支配に関わる基本法令集、王府の諸施策を示す令達集、さらに王府の農政・林政に関する基本法令等を収録いたしました。すでに活字で紹介されたもの、今回初めて紹介されるもの、いろいろですが、いずれも近世における王府の基本施策を知るに欠かせない史料だと思います。県民をはじめ研究者の間で広く活用されることを願っております。

最後に、本書のために貴重な蔵書の利用を御快諾くださいました各機関、諸氏に深く感謝申し上げ、刊行の言葉といたします。

平成元年二月